



吹田市佐井寺にある茅葺き屋根



佐井寺地区の農作業風景を再現した写真。地元農家の協力によって実現した。1989年、吹田市立博物館による撮影。

くだんの農家の小田龍太郎さんによると、茅葺き屋根の母屋は江戸末期の建築で、茅が腐り雨漏りがするようになって

くるため、1世代に1回くらいの間隔で茅の葺き替え工事を行っている。茅葺き屋根は一般的な屋根と違い、夏と冬の温

度差が少なく、過ごしやすという。茅の厚さが35センチくらいもあるので断熱効果があるためらしい。夏は涼しく、冬は暖かいというわけだ。台風などの影響についても、被害を受けたことはないようだ。

### 茅葺き屋根住宅の魅力と葺き替え

日本昔話をほうふつとさせる茅葺き屋根が全国的に減りつつある。大阪でも例外ではないが、吹田市佐井寺地区で最近葺き替えた茅葺きの農家を見つけた。その農家で聴くと、先人の知恵や意外な苦労がうかがえる。マンションが増えるなかで、水田や農家が案外残っている佐井寺地区の魅力を探ってみた。

## 第27回

# 佐井寺の茅葺き屋根



シティライフ創刊30年記念企画  
シテイライフアーカイブズ  
北摂の歴史記録

現在、そして未来にもつながる過去の情報を取材、編集し、記録する特集です。北摂の歴史から、私たちの住むまちの魅力を学び知る機会になればと思います。第27回は「吹田市佐井寺の茅葺き屋根」について紹介します。

シティライフ アーカイブズ 検索

### 茅葺き屋根の意外な「カラスのキッチン」

困ることは、カラスの悪さだ。カラスは自分の巣を作るため、その材料としてちやつかり屋根の茅を取って行くのだという。また、茅が腐ると虫がつき、それをカラスが好んで食べにくる、ということが度々起こっているらしい。カラス

にすればマイホームの資材置き場であると同時に、グルメを楽しむキッチンでもある。対策として、針金を茅葺きの中に入れて、茅を取られないようにしたり、貝の光の反射でカラスを寄せ付けないようにしているそうだ。

### 茅のメリットと悩み

屋根の材料として茅が使われる理由は、茅が海岸に生えている植物で、満潮時になると30センチくらい海水に浸かる点にあるという。塩分を含むため、腐りにくいというのだ。

しかし、茅は次第に減少傾向にあり、昔は十三の淀川から取っていたそうだが、茅が取れなくなつてしまひ、それから岡山県の海岸の方へ移った。しかしこれもコンビニナートがでるようになってきた。今では青森県から茅を刈り取り持ってきているそうだ。また、近畿で茅を刈る人が減ったことも、使える茅が少なくなっている原因になっているという。

### 佐井寺の農業と「牛仲間」

小田さん宅のある佐井寺地区はかつては典型的な農村だった。それが昭和の末期から都

市化の波に洗われ、昔ながらの農法が徐々に姿を消していった。そこで1992年にオープンした吹田市立博物館が佐井寺地区の農業風景を映像として残そうと、地元農家の協力で撮影した。それが今でも残っているビデオコーナーで見ることが出来る。

佐井寺には「牛仲間」という言葉がある。耕運機などの機械がなかったころ、牛は貴重な働き手だった。それで農家が3〜4軒で頭の牛を飼い、交代で世話をした。それが牛仲間だ。佐井寺自治会の会長、西盛(しげる)さんは5年前まで牛を飼っていた。住吉大社のお田植え神事にも牛を提供していたが、牛を住吉大社と自宅間を1往復させる車代が15万円もするので牛を手放したという。

#### 取材を終えて

日本の昔話に登場するような茅葺き屋根の農家が大学近くにあることに気づき、取材をさせてもらいました。冬は暖かく夏は涼しい家屋で地球温暖化の防止にもつながるわけですが、「カラスが大敵」などの苦労が意外でした。

関西大学文学部 1年次生、赤坂怜美

## 箕面公園いいね! プロジェクト

### (イベント案内)

### 箕面公園昆虫館からのお知らせ

自然工作  
「自然素材でつくるクリスマス飾り」  
自分だけのオリジナル飾りで  
クリスマスをお祝いしませんか♪  
日時：12月10日(日)11:00~15:00  
会場：梅屋敷(箕面公園内)  
参加費：200円  
\*特に事前申込は必要ありません。  
\*材料なくなり次第終了があります



ひと汗かこう! 滝道落葉清掃day  
滝道の落葉清掃  
0.5dayボランティアに参加しませんか  
日時：12月11日(月)  
10:00~12:00  
集合：箕面公園昆虫館前  
10:00  
募集：20名  
\*軍手を持参ください。  
清掃用具は公園事務所で用意します  
協力：ナルクみのお



自然観察会 12月  
一落葉の下の生きものー  
みんなでひたすら落葉をめぐって、  
虫たちをさがしてみよう!  
日時：12月17日(日)  
11:00~12:30  
雨天中止  
集合：箕面公園昆虫館前  
参加費：子ども(中学生以下)100円  
定員：20名(要事前申込)  
\*小学生以下は保護者同伴



問合せ・申込:072-721-3014(箕面公園管理事務所)

箕面公園っていいね! 投稿お待ちしております。

みなさんから投稿いただいた写真などの「いいね」情報を掲載しています。みなさんが見つけた情報や写真をお待ちしています。携帯からも投稿できます。右のQRコードを読み込んでニックネーム、お住まいの地域(〇市)、年齢を記載して送信してください。



<http://mip.citylife-new.com/>

### 12月18日(月)まで 美しさは万華鏡のよう トリバネアゲハ展開催

トリバネアゲハから見える生物多様性  
生命の進化と生物多様性を探る研究対象として重視されるトリバネアゲハ類 全34種145亜種 約450頭の標本と明快な解説で、その魅力を伝えます。



この企画展では姫路科学館所蔵「小林平一コレクション」の標本を展示しています。小林平一コレクションのトリバネアゲハ類、全種約10,000頭は、世界でも類い希な収蔵種数と頭数を誇ります。

日時：12月18日(月)まで  
開催場所：箕面公園昆虫館  
休館日：毎週火曜日(祝日の場合は翌平日)・年末年始  
開館時間：午前10:00~午後5:00

(ご入館は午後4:30まで)  
入館料：高校生以上 お一人様 270円  
中学生以下 無料

\*団体(有料入館者30名以上の場合、お一人様190円)  
\*障がい者手帖をお持ちの方、およびその介護者1名 無料  
協力：姫路科学館

